

Catch up 滋賀医大 : 滋賀医大ニュースレター 第4号

著者	滋賀医科大学
発行年	2008-10-01
URL	http://hdl.handle.net/10422/9096

Catch Up 滋賀医大

2008.10.01 平成 20 年 第 4 号



戦略的大学連携支援事業の共同実施に関する 協定書調印式を実施

H20.09.24

平成 20 年 9 月 24 日、本学において、滋賀医科大学・長浜バイオ大学戦略的大学連携支援事業の共同実施に関する協定書調印式が実施されました。

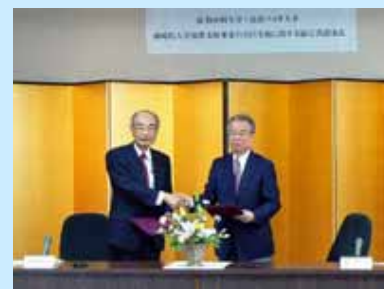
本事業は、平成 20 年度文部科学省大学改革推進事業である「戦略的大学連携支援事業」において、滋賀医科大学と長浜バイオ大学が共同で申請した「びわこバイオ医療大学間連携戦略」が選定されたものです。

この事業は、国公立大学の連携により地方の大学教育の充実を目的としており、平成 20 年 10 月

から平成 23 年 3 月まで実施されます。

滋賀医科大学と長浜バイオ大学では、向こう 10 年を見通し、2 大学が連携し、バイオサイエンスと医学・看護学の融合した新しいバイオ医療学を創設し、人材育成を通して国民の関心が高い健康・医療・介護の諸問題の解決や、地域経済の活性化をも促進していくことを目指します。

調印式後の会見で馬場学長は「バイオテクノロジーと医療の結びつきで、新たな学問領域を確立したい」と話しました。



握手を交わす両学長

(左) 滋賀医科大学 馬場学長
(右) 長浜バイオ大学 下西学長

虎姫高校と高大連携事業協定を締結

H20.07.22

滋賀医科大学と虎姫高校は 7 月 22 日、高校と大学が連携して生徒の教育を行う高大連携事業の協定書に調印しました。

虎姫高校の生徒に、医学に関する教育・研究に触れる機会を提供することにより、医学や医学に繋がる基礎的な学問への憧れを喚起するとともに、将来の目標実現に向けて生徒の資質・能力を十分に高めことを目的とします。

9 月には本学において、虎姫高校の生徒を対象に、「生理学」、「病理学」、

「地域医療の現状と課題」についての講義を行います。また、11 月には、医学コース・看護学コースに分かれて、実習や講義を行う予定です。

調印式において馬場学長は、「高校生が医学・看護学を身近に感じてもらえるような授業を実施し、地域医療の担い手を育てる一助になればと思う。」と語りました。

滋賀医科大学が県内高校と高大連携事業の協定を締結するのは、膳所高校に次いで 2 校目となります。



(右) 滋賀医科大学 馬場学長
(左) 虎姫高等学校 今宿校長

立命館大学との共同開発で尿失禁を改善する 「骨盤底筋体操」CDを制作

H20.09.04

滋賀医科大学と立命館大学との共同開発により、尿失禁（尿漏れ）を改善する体操を楽しく続けることができるCD「おでかけ3分安心体操」を制作し、このほど発売されました。

尿失禁に悩む方は全国に900万人とも言われ、高齢の方や出産を経験された方だけでなく、体のしくみ上、若い女性の方も珍しくありません。

緩んだ骨盤底筋（膀胱、子宮、直腸

などを下から支える筋肉）を体操で継続的にトレーニングすることで尿失禁（尿漏れ）の改善効果が期待できます。このCDでは、多数のCM曲を手がける作曲家/中川俊郎氏による音楽に合わせて楽しく続けられるようになっています。

CDは販売元ホームページで購入できるほか、滋賀医科大学附属病院の売店でも販売しています。



(右)滋賀医科大学 遠藤教授
(左)立命館大学 山内教授



CD「おでかけ3分安心体操」

- ・価格 ￥3,000(税込)
- ・監修 滋賀医科大学 教授 遠藤 善裕、谷 徹
日本コンチネンス協会 会長 西村 かおる
- ・企画・開発 Takumi Vision 株式会社
- ・製造・販売元 株式会社ビジネスデザイン研究所

第2回がんプロ市民公開講座を実施

H20.07.26

平成19年度文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」採択事業の一環として、一般市民の皆様にご覧いただく機会を提供するために市民公開講座を実施しました。

当日は猛暑のなか、定員を超える70名の参加があり、本学村田教

授が司会を務めるなか、田中助教、河野助教による「放射線を使った切らずに治すがんの治療」についての講演が行われました。

参加者は熱心に耳を傾けるとともに、活発な質疑応答が交わされました。



草津市内のホテルで
開催しました

都市エリア産学官連携促進事業(発展型) - びわこ南部エリア - 平成20年度研究計画発表会を開催

H20.07.28

滋賀県が、平成19年度から3年間の計画で文部科学省都市エリア産学官連携促進事業(発展型)の選定を受け、びわこ南部エリアで事業を実施しています。

本事業は、癌患者の腫瘍摘出手術をターゲットに「悪性腫瘍部位の特定」「術中の腫瘍の悪性度の確定診断」「従来の体腔鏡では到達が困難な部位に対する悪性腫瘍の摘出」等、一連の診断・治療が手術室などオンサイトで迅速に実現できる「患者負担軽減のためのオンサイト診療システム」の実現をめざすものです。

本発表会は、研究開発計画および研究開発の進捗状況を広く県内企業等に公表・普及し、びわこ南部エリアの産学官連携の促進を目指し、平成20年7月28日(月)ホテルピアザびわ湖で行われました。

本学からは、外科学講座来見准教授が「体腔鏡手術ロボティック技術の開発研究」について、MR医学総合研究センター犬伏教授が「ナノ粒子診断技術の開発研究」について、平成20年度研究開発計画および研究開発の状況について説明を行いました。



(上)来見准教授

(下)犬伏教授

医学科オープンキャンパスを開催

H20.07.31

7月31日(木)午後から、医学科オープンキャンパスを開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて過去最多となる約400名の参加がありました。

参加者には入試情報やカリキュラムの説明に引き続き、「インフルエンザとワクチン」「本学におけるがん先端治療」と題した模擬講義により、実際の大学教授の授業を肌で体験していただきました。



模擬講義



施設見学の様子

看護学科オープンキャンパスを開催

H20.08.21

8月21日(木)に看護学科オープンキャンパスを開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて過去最多となる約250名の参加がありました。

午前中は、入試情報やカリキュラムの説明を行い、午後は毎年好評の見学実習(体験を含む)を看護学科棟の4つの実習室で行いました。

また、昨年同様に、参加者に大学内での学生生活の一部を気軽に体験していただくことを目的に「お食事券」を配付し、福利棟内の食堂で昼食をとっていただきました。



見学実習の様子



学生食堂での昼食の様子

学生支援GP 地域「里親」による医学生支援プログラムの 一環として、宿泊研修を実施

H20.09.05~06



杉野診療所での懇話会

平成19年度に文部科学省から学生支援GPとして採択された「地域「里親」による医学生支援プログラム」のプロジェクトの一つとして、去る9月5日（金）・6日（土）に、「宿泊研修」を湖北地域で実施しました。

1日目の午前は、湖北地域の自然と文化を学ぶことを目的に、渡岸寺の十一面観音を拝観や賤ヶ岳を訪れました。午後からは湖北総合病院を訪れ病院施設の見学と出張診療所（木ノ本町杉野）の診療見学、その後地域の人々や院長をは

じめ病院スタッフ、町会議員や区長さんから地域の現状のお話を拝聴したあと、懇話会を実施しました。

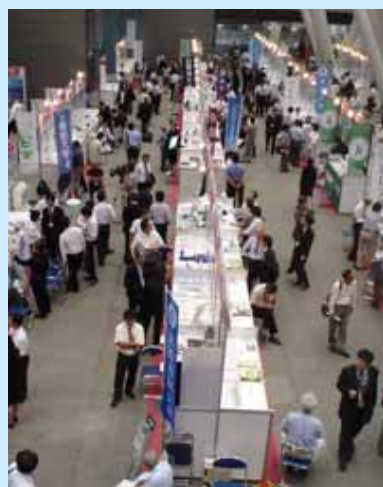
夕食時には、地域で活躍されている病院や診療所の先生方、保健師さんや住民の方をお招きし、意見交換等の交流会を開催しました。

2日目は、市立長浜病院、長浜赤十字病院等の施設の見学を実施しました。

2日間を通じて有意義な研修旅行となりました。

「イノベーションジャパン 2008」に出展

H20.09.16~18



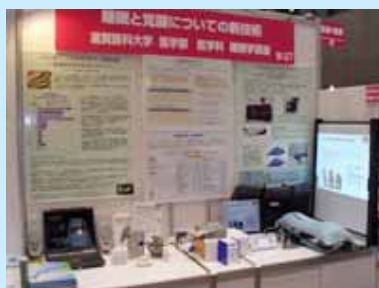
会場全体の様子

9月16日から18日の3日間、東京国際フォーラムにて「イノベーションジャパン2008」が開催され、本学の睡眠学講座が以下4テーマの研究内容を展示・発表しました。

イビキ防止ジャケット
わさび臭による聴覚障害者用の
警報装置
交替制勤務のプログラム
睡眠学教育

各テーマともユニークな内容で関心を呼び、展示ブースは大盛況でした。

また、新技術説明会では、
のテーマについて発表を行いました。聴講希望者が多く立ち席が出るほどでした。



本学の展示ブース



展示内容の説明

平成 20 年 10 月～12 月の行事予定

- 10月 5日 開院30周年記念式典（於：大津プリンスホテル）
- 10月 9日 公開講座「お年をとると出てくる皮膚病」
- 10月16日 滋賀医科大学解剖体慰霊式
- 10月16日 公開講座「高血圧の予防と治療 - 血管の老化を予防する - 」
- 10月16日～26日 展示会「湖国の医史 - 先人たちの活躍を知る - 」（於：県立図書館）
- 10月23日 公開講座「ご家庭で考える皮膚の病気」
- 10月23日 健康教育学習会「ころばぬ先のつえ - 滋賀の医療とつえの話 - 」（湖南地区）
- 10月25～26日 若鮎祭（学園祭）
- 10月26日 治験管理センター市民公開講座
「くすりがあるのに使えない!？」 ～日本でのくすり承認の現状～
- 10月25日 体験授業（対象：高校生、保護者等）
- 10月30日 健康教育学習会「ころばぬ先のつえ - 滋賀の医療とつえの話 - 」（湖東地区）

大学概要



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

所在地：

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：

1974年10月1日

活動内容：

教育・研究・診療

役員：

学長 馬場忠雄

理事（教育等） 服部隆則

理事（医療等） 柏木厚典

理事（経営等） 村山典久

理事（総務等） 脇坂信夫



担当

企画調整室

TEL:

077-548-2011

FAX:

077-543-8659

本学 Web サイト URL:

<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:

hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 20 年 7 月～平成 20 年 9 月)

教育関係

H20.9.25	読売・京都	滋賀医科大学長浜バイオ大連携事業で調印式.
H20.9.13	京都	「バイオ医療学」で連携
H20.9.6	中日	巡回診療に同行 地域医療の現場見学
H20.9.2	中日	医療安全取材医学生が報告
H20.9.1	滋賀 + 1	2008 びわ湖学生フェスティバル
H20.8.27	京都	滋賀医大と県連携 県内就職に期待
H20.8.27	朝日	大津市医学生会サマーセミナー2008
H20.8.21	読売	「二本指のピアニスト」大津公演 韓国のイ・ヒアさん
H20.8.20	京都	府立医大、府立大、工繊大「共同大学院」進出
H20.8.19	京都	夢断ぐ奨学金 脈々と
H20.8.13	京都	入試要項
H20.7.5	朝日	高血圧死の危険、40代男性突出 厚労省が18万人調査
H20.7.1	読売	つながるアカペラ・ハーモニー

研究関係

H20.8.26	読売	iPS 細胞の倫理委員会、学会が設置へ...年内にも提言
H20.8.20	朝日	県内産学官、壁超え新技術を開発中
H20.8.6	産経	日系米人、メタボの割合 倍以上
H20.7.8	日経ヘルス	第 33 回日本睡眠学会レポート ワサビの臭いに睡眠時の覚醒作用が
H20.7.6	毎日	「サマータイム」導入めぐり賛否
H20.7.6	朝日	サル iPS で生殖細胞作り
H20.7.5	読売	iPS 細胞で生殖細胞作製へ
H20.7.5	朝日	40代男性 高血圧に注意
H20.7.3	読売	サマータイム制度 健康への調査必要(大川特任教授)

病院関係

H20.9.23	京都	快眠ライフのために 25 人生寝たもの勝ち
H20.9.13	毎日	介護を無理なく安全に
H20.9.9	京都	快眠ライフのために 24 夜勤で起きる「時差ぼけ」
H20.9.7	読売	検診で早期発見を(前川病院教授)
H20.9.7	読売	病院の実力 糖尿病
H20.9.2	京都	快眠ライフのために 23 寝不足人生
H20.8.31	読売	進むステント治療
H20.8.28	京都	高齢化社会と足腰の痛み
H20.8.28	読売	病院給食にびわバス試食会 東近江
H20.8.26	京都	快眠ライフのために 22 夢と寝とぼけ
H20.8.23	京都	滋賀医大・京大などと地域病院 先進医療で連携
H20.8.19	京都	快眠ライフのために 21 ナルコレプシー
H20.8.12	京都	快眠ライフのために 20 むずむずして眠れない.
H20.8.11	産経	尿漏れ防止サポート 患者に安心体操CD発売
H20.8.9	びわ湖大津経済新聞	びわバスのカレーソース - 滋賀医大、ブラックバスを入院患者に提供
H20.8.9	毎日	立命館大と滋賀医大がCD「おでかけ3分安心体操」を共同開発
H20.8.8	京都	気軽に3分、骨盤底筋体操
H20.8.7	京都	患者向けバス料理検討 東近江・蒲生病院

H20.8.7	各紙(6紙)	採血器具 使い回し1万1700施設
H20.8.5	京都	快眠ライフのために19 子どものいびき
H20.8.3	読売	病院の実力 滋賀編 婦人科内視鏡手術
H20.8.3	読売	病院の実力 傷口目立たず入院も3,4日
H20.7.27	読売	第14回口腔保健シンポジウム
H20.7.27	京都	地域医療 第1部 医師が足りない
H20.7.24	京都	地域医療 第1部 医師が足りない
H20.7.23	京都	地域医療 第1部 医師が足りない
H20.7.22	京都	地域医療 第1部 医師が足りない
H20.7.22	京都	快眠ライフのために17 昼寝で元気!
H20.7.15	京都	快眠ライフのために16 サマータイムで睡眠障害.
H20.7.8	京都	快眠ライフのために15 うまく使って健康維持
H20.7.7	産経	インスリン治療 有効に使い合併症予防
H20.7.6	読売	腰痛の手術 入院平均2~3週間
H20.7.6	読売	病院の実力 腰痛の手術
H20.7.5	京都	地域医療の魅力熱く 大津で研修医対象の講演会
H20.7.1	京都	快眠ライフのために14 不眠とうまくつきあう
H20.7.1	いきいき近江	熱中症に気をつけましょう(江口教授)

社会連携関係

H20.9.19	毎日	医療と人権を考える 彦根城博物館
H20.9.15	読売	文献伝える江戸の医療
H20.9.10	毎日	アイデア交流展:介護を無理なく安全に
H20.7.23	京都	高大連携へ協定 滋賀医大と虎姫高
H20.7.23	中日	医学の基礎を紹介 滋賀医大と虎姫高が連携
H20.7.15	読売	滋賀医大公開講座「小児アレルギー夏期ゼミナール」
H20.7.4	読売	広がる高大連携 膳所高-滋賀医大
H20.7.2	各紙(2紙)	滋賀医科大と膳所高協定_医師めざす高校生育成
H20.7.1	京都	滋賀医大などが睡眠学基礎講座

その他

H20.9.18	京都	国体でベストを尽くす 滋賀県選手団旗手:井上選手(医療サービス課非常勤職員)
H20.9.15	京都	構内禁煙 私大に広がり